

将来像の実現にあたっては、村民同士や村への愛情など、村の中でさまざまな愛が響き合う村をめざしていく必要があります。そのため、「愛響プロジェクト」として、第5次長期総合計画において重点的に取り組んでいくものを以下のように設定します。この取り組みにより、将来像や将来人口の実現をめざします。

1

村への愛着を育もう！（人口減少、少子高齢化対策）

【背景】

本村では人口減少、少子高齢化が進んでいます。このことが村民にとっても大きな不安となっているため、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる「住み続けたい村」として、村民の村に対する愛着を育むことが重要となります。

そのため、子どもを産み育てやすい環境づくりや安心して高齢期を過ごすことができる高齢者福祉の充実、また、少子化の要因の一つでもある独身者の結婚対策についても、村として総合的に支援する必要があります。さらに、あらゆる世代が村に定住できるよう、雇用の場の確保や産業振興、村外からの移住希望者に対する支援にも取り組むことが大切です。

【内容】

①子ども、子育てへの支援

- 保育環境や各種助成の充実により、子どもを産み育てやすい環境をつくります。
- 子どもが少ないからこそできる本村ならではの教育を行うとともに、就学支援の充実を図ります。

②高齢者への支援

- 支援や介護が必要になっても本村で安心して暮らし続けることができるよう、施設整備に取り組むとともに、高齢者の在宅生活を支援する体制の強化に努めます。
- 高齢者がいつまでもいきいきと暮らせるよう、高齢者の健康づくりや介護予防の充実を図ります。

③定住・移住の促進

- 結婚や若者定住につながる交流会、イベント等を充実させるとともに、地域における結婚への支援体制及び支援を行う人材の育成を図ります。
- 農林畜産業、商工業などの連携を強化するとともに、後継者や担い手の育成をはじめとする各種振興策に取り組むなど、産業全体の振興と雇用の場の創出を図ります。
- 村外からの移住希望者に対して、空き家などの移住・定住に関する情報提供体制を確立します。

2

地区への愛を高めよう！（集落支援）

【背景】

本村の集落には高齢化率が50%を超える地区もあり、これからの集落維持が困難になることが懸念されるため、集落への支援が急務となっています。また、地理的な条件から、集落によっては道路・水道・買い物などの生活環境が充分でない地区もあります。

しかしながら、今後も少子高齢化の進行が見込まれる中では、隣近所で村民同士が支え合うという隣人愛や、「自らの地域は自らで守る」といった地区への愛着を高める必要があります。

そのため、今回、長期総合計画の中に位置づけた地区計画に基づく各地区への支援をはじめ、各集落における生活環境の向上を通じて、集落への支援や自主自立の集落づくりに向けた後押しを行うことが必要です。

【内容】

①地区計画に基づく支援

● 第5次椎葉村長期総合計画とあわせて策定した地区計画に基づき、各地区への支援を行います。

②地区住民とのコミュニケーションの充実

- サポーターシステム^{※1}や地域づくり懇談会等を通じて地区住民との意見交換やコミュニケーションの場を充実させるとともに、集落機能の維持に向けた支援体制の強化を図ります。
- 村内外を問わず地区住民との交流機会を推進・充実し、地域活動及び集落の活力の維持増進を図ります。
- 集落の活動拠点として重要な役割を果たす公民館の機能向上を支援することで、村民同士のコミュニケーション及び集落の活性化に努めます。

③生活環境の向上

- 国道・県道など主要道路の整備促進をはじめ、村民に身近な生活道路についても整備を進めます。
- 水道未普及地区での施設整備や維持管理の負担軽減を図るなど、安全かつ安定した水の供給に努めます。
- 食料や日用品の購入が不便な環境にある集落などに対し、環境改善に向けた体制等を検討し村民の買い物支援に取り組みます。

※1 サポーターシステム：地域と連携した村づくりを進めていくため、各公民館に担当職員を配置し、広報・広聴活動を充実させること。